

法政大学学術機関リポジトリ
HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

アメリカ合衆国バッドランズ国立公園

著者	東郷 正美
出版者	法政大学多摩研究報告編集委員会
雑誌名	法政大学多摩研究報告
巻	29
ページ	?-?
発行年	2014-05-30
URL	http://hdl.handle.net/10114/9562

アメリカ合衆国バッドランズ国立公園

東郷正美¹⁾

Badlands National Park, USA

Masami TOGO



バッドランドとは、急な谷壁もつ潤れ谷群が作り出した複雑で激しい起伏をもつ土地のことで、日本語では「^{あくち}悪地地形」と当てられる。アメリカ西部の開拓者たちが馬で通過することができず、農地にならないこのような土地に対して用いた語に由来するとされる (Fairbridge, 1968)。この名のついた国立公園が、アメリカ中西部のノースダコタ州にある (写真 1)。国道 I-90 号を Wall で離れて南に向かうと間もなく公園入口ゲートの一つに着く。ここでは果てしなく草原がつづく大平原“偉大なるグレートプレーン”の景色に圧倒されるばかりで、360°いずれを見てもバッドランドの姿はない (写真 2)。しかし、ここから数分もかからないうちに突如車は、上部白亜系の浅海性堆積物とそれを覆う古第三系河成層からなる平原面が開析されて生じた荒々しいバッドランドに突入し、景色は一変する。鋭く尖った岩山が幾重にも林立し、そのかたち、奇形にして同じもの無し。斜面に露わとなった地層は層位により厚さを変え色調が変化していて独特の幾何学模様と彩りを施し、美しい。目につく赤い帯は古土壌とされる (写真 3)。隆起を始めたロッキー山系、その一部にあたる Black Hills から流れでて南東に向かう諸河川が、北東流するシャイアン川に争奪されることにより堆積物の供給が絶たれ、シャイアン川流域とその南側のホワイト川流域の分水界に位置することとなったこの地は、それぞれの支流群の谷頭侵食にさらされ、バッドランドと化したとされている (写真 4)。

1) 法政大学社会学部

